♥恭子ちゃんのどぉーのこぉーの

「知らんけど」から始まる、小さな魔法。

先日、他地域の農業(特に稲作の)継承に関する研修へ行ってきました。 環境・条件・生産規模などは全く違いますが、作ったお米をどう売るのか？については、参考になるかな？と思い質問してみました。
売上の半分が卸(おろし)販売、半分が直接販売とのことでした。そこで直販がなぜ起きるのか？認知の方法について質問したところ、そのほとんどが口コミということでした。そこで改めて実感したのは、やっぱり一番強いのは「食べた人の口コミ」なんだな、ということです。
そして、その「口コミ」の本当のスタートって、実はここに住むみなさん（内部の人）の一言なんですよね。どれだけ外にアピールするより、まず地元にいる人が「これ、ええで」とポロッとつぶやくことから、すべてが始まっていきます。
でも、ずっとこの土地の豊かな水と土で育ったものを食べてきたみなさんにとっては、それが「当たり前」の日常ですよね。自分から「うちのものはすごいぞ」なんて言うのも、ちょっと気恥ずかしいと思います。だからこそ、外から来た私を、ただの「ネタ」として使ってみてほしいのです。

**「大阪から来たあの子が『これ、めっちゃ美味しいですよ』って当たり前に言うんよね。
なんや、えらい美味しいらしいで（笑） ま、知らんけど。」**

そんな風に、ご近所さんや街に住むお孫さんとの会話のついでに、ポロッとつぶやいてみていただきたいのです。
みなさんの何気ない一言から生まれた小さな波紋が、巡り巡って、この大切な土地の食卓や風景・文化を優しく守っていくスタートになります。

「ま、知らんけど。」に戸惑いを全部を託して(笑)
私のお節介な「当たり前の感動」を、どうぞ気軽に会話のネタにしてみてくださいね。



はくよう

広報第296号（2026.11.1）

博要住民自治協議会広報部
博要地区市民センター内

ふれあい視察研修

10月27日(火)、博要地域の農業の担い手不足解消のため、福井県小浜市を訪問しました。
小浜市では、地域おこし協力隊制度を活用した就農者育成に取り組まれています。
参加した24名は、小学校跡地を活用した施設『松永ふるさと交流会館』で、小浜市農業振興・担い手育成グループの担当者をはじめ、地域おこし協力隊OBの熊切栄輔さん、熊切さんの受け入れをされた、株式会社永耕農産の３者からお話を伺いました。
小浜市では、地域との連携による協力体制が整っており、市が地域おこし協力隊として就農希望者を募り、地域の農業団体が受け入れるという、小浜市独自の新規就農の仕組みが醸成されていました。





参加者の皆さんは熱心に聞き入り、博要地域の農業の在り方を模索するように多くの質問をされていました。博要地域の問題点へのアドバイスもいただき、大変有意義な研修となりました。





昼食はお食事処「魚山亭」にて焼き魚定食を堪能したのち、「若狭フィッシャーマンズワーフ」で、お買い物を楽しみました。



帰路、滋賀県マキノ町でメタセコイヤ並木を見学しました。
恒例の「ビンゴゲーム大会」では、笑いと嘆きと喜びの声が車中に響き、大いに盛り上がりました。
片道4時間の長旅でしたが、事故もなく無事研修を終えることができました。
ありがとうございました。





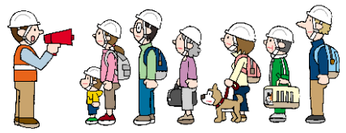
地域福祉ネットワーク会議



10月16日(金)、地域福祉ネットワーク会議を開催しました。参加者は15名で、高齢者の日常生活支援情報の共有を行いました。

また、6月に行った博要地区防災計画のワークショップで出された意見を基に、伊賀市防災危機対策局がまとめた「博要地区防災計画」を確認しました。

※別紙に計画書を掲載していますので、ご覧ください。



『歳末たすけあい募金』ご協力のお願い



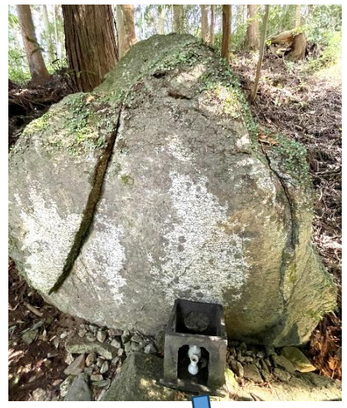
『歳末たすけあい運動』とは、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人が安心して暮らせるようにする為の募金活動です。実施期間は12月1日から12月31日の1か月間です。地域の様々な福祉活動を応援し、自治協の世代間交流事業、配食サービスへも助成をいただいております。皆様のご協力をお願いします。

◇今後の予定◇

11/1(日)	13：30～	ちょうどいい田舎で農業体験	ほたるの里農園
11/3(火・祝)	8：30～	健康フェスティバル グラウンドゴルフ大会	青山文化センターグラウンド
11/12(木)	10：00～	献立会議（A班）	博要地区市民センター和室
11/13(金)	13：30～	種生おしゃべりサロン	種生生活改善センター
11/14(土)	9：45～ 15：00	桐ヶ丘秋祭り出店	旧Aコープ駐車場および桐ヶ丘地区市民センター周辺
11/15(日)	10：00～	hakuyoga（ハクヨガ）	青山ハーモニー・フォレスト
11/19(木)	11：30～	配食サービス	申込者宅へお弁当を配布します
11/20(金)	19：30～	本部役員会議	博要地区市民センター小会議室
11/21(土)	10：00～ 15：00	田舎のえきはくようTERAS （照らす）/きなりはなれ＋	田舎のえき（萩田邸）
11/22(日)	11：00～	農村環境創造講演会	種生生活改善センター
11/23(月・祝)	8：30～	パークゴルフ大会	青山ハーモニー・フォレスト
11/28(土)	13：30～	老川ほっこりサロン	青山文化センター
11/29(日)	11：30～	地域食堂	青山ハーモニー・フォレスト

文化遺産・史跡の情報発信

『いっきょさん』のお話 （老川地区）



いっきょさんは、老川区寺蔭組字田中の杉森家裏山裾に高さ1.5mほどの大きな岩が鎮座しています。霊験あらたかな「生きさす」（延命）の神様で、昔から近くの山中家・福永家・杉森家の3軒で祀っていました。当時は毎年旧12月旧卯の日に、持ち回りで肉・野菜・茶碗蒸しを作り、講を炊いていました。



今は杉森家が毎月１日と15日2回きれいに周辺の掃除をされています。山の斜面に祀られているので、足元が危険なので階段と手すりを設置していただきました。



土砂崩れが頻繁にあり、いっきょさん近くにあった直径60㎝ほどの岩が杉森家の池の近くに転げ落ち、いっきょさんの岩と手前にある岩と転げ落ちた岩が、なんと！一直線に並びました。幸い怪我もなくいっきょさんが守ってくれたのでしょう。と、今も信心されています。





「不思議なお話でいつもいっきょさんが助けてくれます」「何か困った事がある時、いっきょさんにお願いすると必ず守ってくれます。」と、杉森俊子さんが仰っていました。

いっきょさんの岩の表面には、絵の彫り物があるそうです。
苔が生えており何が掘ってあるのか今もわからないようです。
（取材時は何も見えませんでした💦）

また、いっきょさんをお守りするように大きなけやきの木が生えています。神様の木だと選定をしたりと大事に守っています。杉森家がこれからもお祀りしますと、やさしい笑顔でお話しされていました。

お話を聞かせていただいた、杉森俊子さんありがとうございました。m(_ _)m